

明けまして おめでとございます

平成20年は都市緑化基金から「緑の都市賞」受賞や古賀市に新しい園芸福祉庭園「はなちどり」の開設など古賀市緑のまちづくりの会がまた一つ躍進の年でありました。20年度は会計年度を16ヶ月と変則年度でしたが、本年度から1月を年度初めとして新しい出発をいたします。

本年も元気に森づくりや、園芸福祉の活動の中からみんなの幸せを作る活動を続けましょう。

代表幹事 青崎 安孝

◆ みどり苑の花壇・リフレッシュ!



古賀市緑のまちづくりの会員9名は12月2日、はなちどりで育てた花苗を持って特別養護老人ホーム「みどり苑」に集まりました。

好天の当日、施設長さんやみどり苑の園芸福祉士の方々と、それまで花壇を飾っていた夏の花を入れ替えて、ハボタン、ビオラ、パンジー、球根など冬から春に咲く花に植え替えました。

みどり苑の花壇は入苑者に好評で「花壇を囲み憩いの場になっている」と施設長さんは感謝していました。

◆ 植林地測量進む

恒例の第8回植樹祭は来年3月7日に開催されますが、開催地は従来どおり古賀グリーンパーク内に決まりました。

市は直ちに予定地の草刈りを完了し、それに続いて、緑の会員は公園内予定地数カ所の測量に取り組みました。測量による面積の確定は、植栽の基礎資料になるものであり、植栽場所や樹種の確定、植樹祭の人員配置、植林本数配分の算定に欠かせない大切な作業です。面積が決まると植栽木の選定と配置に取り組みねばなりません。年の瀬を迎え急ぎ測量作業を行いました。



◆ 竹伐・頑張る! 森づくり



「最近耳が遠くなったんですよ」「私は目がかすむようになり見えにくい。」「オレは物忘れが酷いんですよ」「そんなの誰でもありますよ」「だからメモを取るようになっています」「ところが、そのメモした場所を忘れちゃう!」。

納富さん差し入れの柿を頬張りながら、作業を終わって賑やかな会話が弾みます。やることはやる。まだまだ元気です、〇〇パワー。

冬とはいえ暖かい12月13日、緑の会員の7名はグリーンパーク第2回目植林地林内のつきり、枝打ち、竹伐り作業に取り組みました。

◆ 花のアドバイザー養成講座

11月29・30日及び12月6・7日の4日間、福岡市アイランドで行われた「福岡県花のアドバイザー養成講座（園芸福祉士養成講座）」に古賀から会員2名と一般からの計3名が受講しました。

テーマの花壇づくりの日はみぞれも降りそうな寒い日でしたが、受講者の熱意で、テーマに沿った素晴らしい花壇ができました。今後の古賀市の園芸福祉活動が一段と充実することと期待されます。

◆ 青柳小・苗育て問答

青柳小学校で「青小どんぐりの森」に植える苗木を育苗しています。横大路会員はしばしば灌水のお手伝いをしています、その時の子ども達との問答です。

「冬も水遣りは必要ですか？」と上学年の子どもが聞いてきます。「夏ほど度々やらなくてもいいけど、お天気が三、四日続いて土が乾いている時は、たっぷりとやってください。まだ地に植えられてなくて、ポットの中で根を張ってる苗は自分で水を飲みに行けないから、みんなで面倒をみてやって」と説明。

落葉樹の苗たちがすっかり葉を落としていました。寒そうですが、よく見ると新芽の準備ができていのですね。子どもたちとじっとみていたら「ポットの中にいっぱい落ちてる枯れた葉は、のけんでもいいと？」と質問です。「うーん…？苗のお布団になったり、雨よけになりそうだから、置いところか？」と答えました。子どもたちが「おばちゃん」と寄ってきてくれるのは嬉しいのですが、質問にはたじたじです。



◆ はなちどり

平成20年、最後のはなちどり作業は23日（火）猛宗竹の鉢に松竹梅をあしらった正月飾りをつくりました。お気に入りの作品を眺めながら、ケーキと果物で楽しく茶話会で過ごしたあと、良い正月でありますようにそれぞれ自分の作品を持ち帰りました。参加は14名でした。

会員の声

今年こそは、緑の会活動に一回でも多く参加！

最近、緑の会の活動にあまり参できていないのが、気になるこの頃です。

思えば、緑の会の活動も8年を経て、ふるさとの森づくりや園芸福祉活動と大きく広がり、とても大がかりな事業をこなしています。植樹祭の準備（測量、樹種決定、地ごしらえ、苗運び、竹炭づくり、班分け）、植樹祭の運営（受付、進行、各班の指導）、育林作業（日々の下草刈り）、青柳小のどんぐり拾いと播種・育苗の指導と補助、はなちどりの運営と管理、特別養護老人ホーム「みどり苑」花壇の植え替え補助、図書館横の花壇づくりなど・・・。

市民の方からは、「あれだけの作業をされてるから、当然日当が出てるのでしょうか？」と言われてます。「いいえ、日当なんか出てないですよ。みんなボランティアですよ。」と答えると、「うそ〜！」と驚かれます。

みんな木や花が大好きだから、種をまいたり苗を植えたらほっとけずに植え替えや下草刈りの作業に参加し、「元気に育ってね」「きれいに花をつけてね」「きれいに咲いてくれてありがとう」「暑いのによくがんばったね」などと、まるで我が子に話かけるように声かけしながら、手入れをしています。植物とかかかわると優しくなれるのでしょうかね。古賀に住む人たちが優しくできるようにあちこちにお花を植えたいと思いながら、日々活動されています。

私はというと、なかなか活動できず申し訳なさでいっぱいなのですが、青崎代表がいつも言われる「できるときに参加してください」の言葉につい甘えています。今年こそは、一回でも多く緑の会の活動に参加できるよう・・・！！

新町直子